

- PPEは、使用毎に行う通常の点検に加えて、定期的に適任者による詳細点検を受ける必要があります。ペツルは製品の使用期間を通し、12カ月ごとの点検および特殊な状況での使用後の点検を行うことをお勧めします。
 - PPEの点検は、メーカー指定の点検方法に従って行ってください。
- 点検に関する資料はペツルのウェブサイト PETZL.COM からダウンロードできます。

ブーリー

ユーザー情報

氏名
住所

ユーザーID

PPE情報

製品名
個別番号
製造年
購入日
初回使用日

製造者: Petzl, ZI Cidex 105A - 38920 Croles - France



異常なし (G)



注意が必要 (TM)



修理が必要 (TR)



使用不可、廃棄 (R)

N/A

該当なし

1. 製品履歴の把握

使用状況、使用中に生じた特殊な状況 (例: 用具の落下、墜落を止めた、極端な高/低温下での使用または保管、メーカー施設外での改造等):



N/A

2. 予備的観察

- 個別番号と CE マークが付いていること及び判読できることを確認してください。
- 耐用年数が過ぎていないことを確認してください。
- 新しい状態にある同一製品と比較して、改造が施されていないことおよびバーツが欠損していないことを確認してください。

3. 可動サイドプレートの状態の確認

- 可動サイドプレートの状態 (傷、変形、ひび、摩耗、腐食等) を確認してください。
- アタッチメントホールの状態 (傷、変形、ひび、摩耗、腐食等) を確認してください。
- 可動サイドプレート付きのブーリーの場合は、サイドプレートが正しく回転することを確認してください。
- リベットの状態 (傷、変形、ひび、腐食、遊びの不足等) を確認してください。
- スイベルの状態 (傷、変形、ひび、摩耗、腐食等) および両方向に回転することを確認してください。

4. 滑車の状態の確認

- 滑車の状態 (傷、変形、ひび、摩耗、腐食、異物の混入等) を確認してください。
- 滑車が両方向にスムーズに回転することを確認してください。

ラチェット式の軸をもつ滑車:『スピンドル L1D』

ラチェット式の軸の状態を確認してください。(傷、変形、ひび、摩耗、腐食等) 滑車が必要な方向に回転し、反対方向にはブロックされることを確認してください

- ラチェット式の軸のクリック音を数えてください。1回転する間に「カチッ」という音が 12 回聞こえます。

5. サイドプレートの開閉とロックシステムの確認

- ロックシステムの状態と機能を確認してください。(傷、変形、汚れ、スプリングの戻り等)

6. 機能確認

- ブーリーをアンカーに取り付け、滑車にロープをセットしてください。
- ロープを両方向に動かしてください。

コメント (確認された不具合や取られた処置について詳しく記入してください)

評価
使用を継続することができる
使用を継続することができない

点検者	
団体名	
日付	次回点検日